

変われるかどうか

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

おはようございます。

本大会の開催にあたり、慣れない作業に四苦八苦しながらも務め上げていただきました小島実行委員長、ならびにスタッフの皆様、本当にありがとうございます。

昨日結婚式に出席してきました。岐阜大学の女性と愛知大学の男性、どちらもテコンドー部に所属し、その繋がりでお知り合いになりご結婚されました。

20年ほど学生を見させていただいていますがこういった他大学で結婚されるケースは初めてで、そういった出来事に関わらせていただけて本当に感謝をしております。

その際に乾杯のスピーチをさせていただきました。そして今日もお話をさせていただくのですが、別のテーマで2つ話せるほど器用でも余裕もありませんので、同じテーマでお話をさせていただきます。

強いとはあるべき姿でいることです。

そしてその姿に変われるということです。

組織を運営していても思うことは全てのものは変わっていくということ。そしてその中で変わらない人は楽しかったはずのこともいつしか楽しく無くなっていきます。そういった様を見ていると”変わる”ということは人生を楽しく生きるために必要なことと感じます。

ではどういった時に変わる必要があるのかと言いますと、物事が上手くいかない時です。嫌な思いをする時です。

それは大変な時とも言えます。言葉の捉え方は様々ですが、大変とは大きく変わると書きます。それが必要な時とも感じます。

変わる上で必要なことは、上手くいかない時、嫌な思いをする時、なぜそうなったのか、何がいけなかったのか、その原因や解決策を自分の中に探せるかどうかです。

この作業のことを”自分と向き合う”と言います。これが出来る人は変わることができます。

しかしこれが難しい。当然人のせいにして、環境のせいにした方が楽です。また自分の悪いところなど人には知られたくない、そう思われたくないのは当然です。

しかしながら思うことは人生を良くしていくことは決して楽な方向ではないということ

す。

今日あなたは嫌な思いをするかもしれません。試合ですから負けることもあります。試合に負けて嫌だと思うかどうかは分かりませんが、もし嫌な思いがあるならばその原因を今だけではなく過去まで遡って考えてみてください。嫌だと思に至った原因や解決策を自分の中に見つけてください。そして自分が納得するまで考え抜いてください。

もし納得いく答えが見つければ見つかった時にもうあなたは変われています。また前を向いて歩いていきます。

また時間が経ち、自分自身が成長できたと実感できれば、そういった嫌な出来事にも感謝できるようになります。その出来事があったから成長できたと思えるからです。

そうなるるとまた次の困難も乗り越えられる人になります。

試合に勝つ人はカッコよく見えるかも知れません。しかしながらそれは一時の事です。生きていれば時には困難の連続です。しかしどんな時も自分なりの目標を持って前向きに生きてみえる方、そういう方を私はカッコいいと思っていますし、自分もそうでありたいと思っています。

ありがとうございました。

2024年3月17日

第29回岐阜県テコンドー選手権大会にて